

氏名

点/100点

【問1】演算子の動作に関する次の設問に答えなさい。〔各2計40〕

設問1 変数を次のように宣言して初期化した。

```
int ans, a=7, b=3;
```

次の各文を実行した後の変数 ans の値を答えなさい。

- (1) ans = a + b;
- (2) ans = b - a;
- (3) ans = b * b;
- (4) ans = a / a;
- (5) ans = b % b;

設問2 変数を次のように宣言した。

```
int a;
```

次の各文を実行した後の変数 a の値を答えなさい。

- (6) a=5;
- (7) a=(int)1.8;
- (8) a=(int)2.2;
- (9) a=((int)1.7)+4;
- (10) a=(int)((double)4+1.7);

設問3 変数を次のように宣言して初期化した。

```
int ans=4, a=3, b=2;
```

次の各文を実行した後の変数 ans の値を答えなさい。

- (11) a = b = ans;
- (12) b = ans = a;
- (13) ans *= a;
- (14) ans -= ans;
- (15) ans /= b;

設問4 変数を次のように宣言して初期化した。

```
int a=1, b=3;
```

次の各文を実行した画面出力 (true または false) を答えなさい。

- (16) System.out.println(true);
- (17) System.out.println(false==false);
- (18) System.out.println((a + b) >= 3);
- (19) System.out.println((b % 2) == 1);
- (20) System.out.println(-2 == (a - b));

■解答欄

1	10	2	-4	3	9	4	1
5	0	6	5	7	1	8	2
9	5	10	5	11	4	12	3
13	12	14	0	15	2	16	true
17	true	18	true	19	true	20	true

【問2】加算演算子を用いた次の各コードを実行した画面出力を答えなさい。ここで加算演算子は左結合の演算子です。〔各2計12〕

- (1) System.out.println(1 + 1);
- (2) System.out.println("1" + 1);
- (3) System.out.println("1" + "1");
- (4) System.out.println("1 + 2 = " + (1 + 2));
- (5) System.out.println(("1 + 2 = " + 1) + 2);
- (6) System.out.println("1 + 2 = " + 1 + 2);

■解答欄

1	2	2	11	3	11
4	1 + 2 = 3	5	1 + 2 = 12	6	1 + 2 = 12

【問3】リテラルは、コード上での値の表現方法です。次の各リテラルの種類を選択肢から選び、それぞれ記号で答えなさい。〔各2計16〕

- (1) 5
- (2) 'a'
- (3) "hello"
- (4) true
- (5) "false"
- (6) 05
- (7) '¥¥'
- (8) 1.0e+2

■選択肢

- A.文字リテラル B.文字列リテラル C.整数リテラル
- D.浮動小数点数リテラル E.論理値リテラル

■解答欄

1	C	2	A	3	B	4	E
5	B	6	C	7	A	8	D

【問4】次の各コードにおいて、変数 a に true または false をそれぞれ代入した場合の画面出力を答えなさい。ここでコード中の改行やスペースなどは一部取り除いています。〔各1計6〕

```
boolean a=□;
(1) if(a)System.out.print("A"); else System.out.print("B");
(2) if(a)System.out.print("C"); System.out.print("D");
(3) if(a); System.out.print("E");
```

■解答欄

1 (変数 a が true のとき)	A	2 (変数 a が true のとき)	CD	3 (変数 a が true のとき)	E
(変数 a が false のとき)	B	(変数 a が false のとき)	D	(変数 a が false のとき)	E

【問5】次の解説文の空欄に入る適切な語句を選択肢から選びなさい。同じ番号の空欄には同じ語句が入ります。〔各2計16〕

《値の型変換に関する記述》

型はその値の表現範囲により順序付けされており、これを型の(1)といいます。たとえば、整数を表現する int 型の(1)は実数を表現する double 型の(1)より(2)です。値の型を変換する場合、高い(1)の型へ変換する(3)と、低い(1)の型へ変換する(4)があります。(3)では、値は(5)て(1)の低い型で表現されない情報は 0 で補

完されます。(4)では、値は(6)て(1)の低い型で表現される情報だけが残ります。(3)や(4)は(7)演算子により明示的に行うことができます。たとえば、

```
□ int a=(int)2.8;
とすると、数値 2.8 が( 8 )型に変換されます。
```

■選択肢

- 変数 演算子 ランク インデント 式 高い 低い 拡大変換 縮小変換 int double byte char 拡張され 切り捨てられ 四捨五入され 加算 剰余 キャスト 代入 インクリメント

■解答欄

1	ランク	2	低い	3	拡大変換	4	縮小変換
5	拡張され	6	切り捨てられ	7	キャスト	8	int

【問6】次のコードは、キーボードから得点 score [int 型] を入力し、画面に可否を表示します。可否は得点に応じて下記のようにメッセージを表示します。空欄を適切に埋めてコードを完成させなさい。〔10〕

得点	表示内容
60 点以上 (等しい場合を含みます)	合格♪
60 点未満 (等しい場合を含みません)	合格まで〇〇点です ※〇〇は不足分の点数

■実行例 1

成績判定を行います
得点を入力してください

89

合格♪

■実行例 2

成績判定を行います
得点を入力してください

54

合格まで6点です

■コード

```
import java.io.*;
class Intermediate6_0
{
    public static void main(String[] args) throws IOException
    {
        BufferedReader br;
        br = new BufferedReader(new InputStreamReader(System.in));

        int score;
        System.out.println("成績判定を行います");
        System.out.println("得点を入力してください");
        score = Integer.parseInt(br.readLine());

        if(score >= 60)
        {
            System.out.println("合格♪");
        }
        else
        {
            System.out.println("合格まで"+(60-score)+"点です");
        }
    }
}
```

ゆっくり綺麗に
書きましょう

■解答欄

お疲れ様です!!